

おすすめの一冊 まとめ

本の題名	おすすめポイント		
高瀬庄左衛門御留書 砂原 浩太郎/著 講談社		時代小説の新しいスター登場 藤沢周平ファンのあなたに！（菓子折金太郎）	
それでも日本人は「戦争」を選んだ 加藤 陽子/著 新潮文庫		高校生に向けて加藤陽子氏が行なった講義によって出来上がった本です。若い人にこそ近現代史を勉強してほしいとの意志が明確です。定年後の私も、戦争をしない国を願って、歴史を学び直しているところです。（まりさん）	
おばちゃまは飛び入りスパイ ドロシー・ギルマン/著 集英社		夫に先立たれた普通の初老の主婦が、ひょんな事から米国のCIAのスパイになり、人生経験を生かした彼女ならではの方法で、世界中の様々な困難を解決していく。書かれた当時の各国の情勢や文化もていねいに描かれています。面白くて元気になれる本です。全14巻。（ステラ）	
ゆびぬき小路の秘密 小風 さち/著 福音館書店		ふしぎなボタンの力で時をさかのぼった少年が、その謎を追って「今」の暮らしと行き来するうちにボタンが割れてしまい…「今」に戻ることができるのか、ハラハラドキドキしながら少年の心の成長を見守っていく一冊！（のこちゃん）	
神様のカルテ 夏川 草介/著 小学館		舞台は、雄大な自然長野の松本市で、地域医療支援病院（24時間365日対応）で試練に立ち向かう青年医師の物語。ただの医療小説ではなく、もし私が病気になったら、こんな医師に出会いたいと思ってしまうかもしれません。（Y.N）	
羊と鋼の森 宮下 奈都/著 文藝春秋		ピアノの調律の世界に魅せられ、深く遠い森の用なその世界に踏み入れ失敗しながら成長していく青年の物語。たかが、一つの音。たった一つの音。美しい風景と音楽が重なりピアノに向う主人公が魅力的な一冊です。「羊」の毛で作られたハンマーが「鋼」の弦をたたく。ピアノの音が生まれる。生み出された音は「森」の匂いがした。（Y.N）	
青い鳥 重松 清/著 新潮社		言葉がつかえてうまく話せない中学校の非常勤講師、村内先生。村内先生が発する言葉にはいつも共通している“何か”がある。その“何か”はきっとあなたにとっても大切な言葉なのではないでしょうか。（なつめ）	
自由からの逃走 エリッヒフロム/著 ダビッド社 みすず出版		その昔（50年位前）読んだ時は感激した。こんなにも自由を根底的に深く考え論理化できるものだと感心した。思想哲学の分類に入るので敬遠する向きも多いかと思いますが悩める若人に手に取ってほしいと思うおすすめの一冊。とても着眼の良い企画だと思います。（どんぐりコロコロ）	
ツバキ文具店 小川 糸/著 幻冬舎		鎌倉で文具店兼代書屋を営むポッポちゃん。様々な事情を持つ依頼者に寄り添い、言えなかったありがとうやごめんなさい、大切なあの人へメッセージを届けていきます。読んだ後、鎌倉観光にも行きたくなる一冊です。（M.K）	
コウペンちゃんのショートストーリーズ るてあ/著 学研プラス		コウペンちゃんのショートストーリーズは、かわいいキャラクターの、何でもこうていしてくれるコウペンちゃんといばん人が仲良くなっていっしょにすごくお話があります。ちなみに、コウペンちゃんとはこうていペンギン！（ぴこパスタ）	
本日は、お日柄もよく 原田 マハ/著 徳間文庫		言葉は人を動かし大切な人の言葉はずっと心に残り励まし続けることを改めて実感できる本。様々なシュチュエーションのスピーチが描かれているがその全てが素晴らしくじわりと目頭が熱くなるものばかり。（こころん）	
びんぼう神様さま 高草 洋子/著 地湧社		書店員の方に薦められて読みました。他人と自分を比較してしまうことってありますよね。幸せとは何かを考えさせられるお話です。絵本のようなストーリーなので、あっという間に読めます。多くの人に薦めます。（読書秋子）	
旅猫レポート 有川 浩/著 講談社		野良猫のナナとその飼い主になった悟の人生を旅する話。二人(一人と一匹)の友情と強い絆を感じながら、最後は悲しくも温かい気持ちになれる作品です。絵本や文庫、映画にもなっているので、お好きなタイプどうぞ。（Y.K）	
ほんとうの心の力 中村 天風/著 PHP研究所		自分をほめる「ほめ日記」のヒミツ 手塚 千砂子/著 三五館	
シャーロックホームズ（が出てくる本） コナン・ドイル/著			